

★ 治療院・整骨院

千樹館だより

第86号毎月200枚限定発行



発行責任者／千島直樹

住所：千葉県印西市浦部 163-5

電話：0120-080-134

HP：<http://senjyukan.sukkiri.org/>

ご相談メール：rqqrq026@ybb.ne.jp

定休日：火曜日・水曜日

3月号

【2023年3月営業予定表】

休	月	火	水	木	金	土
			1 休	2	3	4
5	6	7 休	8 休	9	10	11
12	13	14 休	15 休	16	17	18
19	20	21 休	22 休	23	24	25
26 勉強会	27	28 休	29 休	30	31	

【当院では、交通事故の専門治療が可能です】

交通事故によるケガの治療や保険会社との様々な対応は当院にお任せ下さい。おケガの状態に合わせて早期回復治療をお受けします。早期回復治療を受けることで元気な体に戻り体が早く楽になります。自賠責治療でもお客様

の交通事故治療負担は0円です！

一切治療費はかかりませんのでご安心下さい！

書類のやり取りや慰謝料の問題などは・・・

当院の信頼できる顧問弁護士の先生が、

バックアップしてくれます。

悩まないで大丈夫です！(^ ^)！

お気軽にご相談下さい。

コロナウイルス感染症予防策

- 1、換気の悪い密閉空間
- 2、人が密集している
- 3、近距離での会話や発声が行われる

こんにちは、院長の千島です。千葉県内で5日、新型コロナウイルスに感染した10人の死亡と、1322人の感染が新たに判明した。一日あたりの感染者数は前週の日曜日（2000人）から678人減少。県内での累計感染者数は143万6634人に増えた。新型コロナウイルス感染症の症状には、検査結果が陰性になれば終わるわけではない。

通常は、感染してから陰性判定が出るまで10日ほどかかるが、症状はその後も数週間から数カ月、またはそれ以上続くことがあります。コロナ後遺症には様々な症状があり、これまでにいくつか大規模な研究が実施されてきた。新型コロナウイルスに感染したことがある人の間で、こうした症状が多くみられることがわかったようです。

18歳未満の場合、最も多い症状が倦怠感と疲労感であり、咳、喉と胸の痛み、頭痛、熱、腹痛、不安感、抑うつが続いた。成人では嗅覚と味覚の変化が最多で、熱、呼吸困難、咳、喉と胸の痛み、脱毛、倦怠感、疲労感、頭痛などが多かった。ちなみに、先のスコットランドの研究では、頭痛、嗅覚と味覚の異常、疲労感、動悸、便秘、息切れ、関節痛、めまい、抑うつなど26の長期的症状があります。

予防策として飛沫に含まれる新型コロナウイルスや、手や身の回りのものに付着した新型コロナウイルスが、人の口や鼻、眼などから入って感染します。したがって、感染を予防するためには、手洗いや身の回りのものに付着したウイルスの数を減らすことが有効です。

様々な研究結果がコロナウイルス感染者の5人に1人から20人に1人の割合で、コロナ後遺症の症状が見られるようです。

心地よい毎日が過ごせば、人生も好転するでしょう？

コロナ感染の後遺症について

新型コロナウイルスに感染した人は、2022年6月中旬の時点で国内で900万人以上。コロナから回復したあともさまざまな体調不良に悩む人も多く、「**後遺症**」と考えられています。

どんな症状が後遺症なのか、いつまで続くのか、発症の仕組みは。分かってきたことについてまとめました。
コロナから回復したのに**さまざまな症状が新型コロナウイルスから回復したあと、長期にわたって体調不良に悩まされた人が多くいます。**

20代の男性は、おとし7月下旬、コロナに感染しました。社会人1年目で、T関連会社で営業職として働いていた男性です。39度を超える発熱に、頭痛やだるさ、そして、味やにおいを感じないといった症状が出ました。

ホテルで2週間療養したあとに回復し、**発熱や呼吸ができないほどの苦しさは徐々になくなりましたが、けん怠感、嗅覚・味覚の異常などは続いたといえます。**

その後、会社に復帰しましたが、疲れやすい状態やせきは続き、味とにおいの感覚が戻らないため、食事も満足にとれなかったということです。

さらに頭に“もや”がかかったようになって思考力が低下し、簡単なメールの文章も書けなくなったということです。ストレスからか、なかなか眠れず、気分が沈んだ状態が続くようになり、精神科で『**コロナが原因のうつ**』と診断されました。この頃、コロナの後遺症を診る外来で、『**後遺症**』と診断されました。男性はいったん休職して治療に専念しました。

(男性)「これから先、社員を続けられるのか。うつの症状まで出て、本当にこれが自分なのかと混乱もしていました」その後、男性は症状がやや治まり、感染から9か月ほどたった去年には仕事に復帰しました。しかし、感染前のように体力が戻らず、けん怠感も続き、日常生活の中で吐き気を感じることも多くなり、去年10月には精神科で**適応障害**だと診断されました。

肉体的にも精神的にも限界を感じ、退職するに至りました。「僕が感染したあとで会社でも感染した人が結構出ましたが、ワクチンや薬があったことで後遺症が出て早く治るケースがほとんどでした。なぜあなたは長く続けているのかと比べられ、治すために全力を尽くしていましたが、自分の気持ちや周囲とかみ合わなくて、ちょっとしたときついなど感じることもありました。体力が続かなくて、以前のように働けないという申し訳なさもありました。気持ちと体がついてこず、精神的なダメージは大きかったようです」。

◆ 新型コロナ回復後の 主な症状

※米国の論文などに基づき作成

頭痛、めまい
充血、目の乾燥
鼻炎、
嗅覚障害
味覚障害、
食欲不振
せき、たん
咽頭の痛み
関節痛
胸の違和感、息切れ

